

みなみ

R8 竜王南小学校便り

No. 5

2026.9.16 発行

甲斐市立竜王南小学校

学校教育目標

「楽しい学校（楽校）の創造」

— やる気 こん気 げん気 —



凡事徹底

2学期最初の朝、みんなが笑顔で、元気に学校に来てくれるといいな、そんな気持ちで子どもたちを待っていました。子どもたちは多くの荷物を持ち、暑い中、笑顔で登校をしてくれました。とてもうれしい気持ちになりました。子どもたちがいてくれるからこそこの学校と改めて思いました。

さて、今年はどうような夏休みだったでしょうか？熱中症警戒アラートが発令されるような暑い日が続き、外に出での活動が難しい日も多かったのではないのでしょうか。子どもたちからは、海やプール、花火大会に行ったことなど、たくさん楽しい思い出を聞くことができました。また、読書感想文や夏休みの友などの宿題を頑張ったという話も聞くことができました。しかし、全国的には、地震や豪雨によって、突然、日常の生活が奪われた方が多くいらっしゃいました。被災なされた方に心からお見舞いを申し上げますと同時に、普通の生活を送れることに感謝する毎日です。



子どもたちに話される保坂市長

始業式で、私が話したことは2面に載っていますが、保坂武市長から、式の中で、子どもたちに2学期に向けた激励の言葉をいただきました。

2学期は、運動会など、大きな学校行事があります。子どもたちの安全を第一に考え、できることを“工夫”し、当たり前を当たり前と思わず、できることに“感謝”し、日頃の学習、行事の実施を目指していこうと考えています。保護者の皆様には、今後も、本校の教育活動に対するご理解・ご協力をよろしくお願いします。

保護者の皆様の力に感謝です！～PTA早朝作業～

8月29日（土）には、PTA 早朝作業へ多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。今年の雨の影響で、校庭周りは雑草が生え、側溝には枯れ葉がたまっていたのですが、おかげをもちまして、子どもと教職員では、手が届かない部分の作業ができました。また、胞子の会の皆様には、畑の草取りの手伝いをさせていただきました。

PTAの皆様の力の大きさを改めて感じました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。





1学期の終業式で、「明日からの夏休みの過ごし方が2学期に、そして3学期につながっていくことをよく考えて、未来につながる一日一日を過ごしてください。」という話をしたことを覚えていますか。どんな夏休みを過ごしましたか。2学期は一番長い学期です。ですから、全員が仲良く楽しく過ごせるように、「人を笑顔にする算数」を紹介します。

たす「**+**」は、**たすけあう**ことです。一人一人の力は小さいものであっても、一人より二人、二人より三人と、お互いに力を合わせ、助け合うことで、より大きな力が発揮されます。

ひく「**-**」は、**ひきうける**ことです。誰でも、面倒なことや大変なことは引き受けたくはありません。しかし、進んで引き受けることで、相手は喜びます。相手に喜びが感じられれば、引き受けた人も喜びます。お互いに喜び合える関係がつかれます。

かける「**×**」は、**声をかける**ことです。どんな時にも声をかけ合うことは大切ですが、何という言葉をかけるかも大切です。「バカ」、「死ね」、「キモい」、「ウザい」、「そんなことも知らないの?」、「一緒に遊んであげない」、「あっちへ行け」など、言われると悲しくて、心が傷つく「チクチク言葉」をかけることではないです。「チクチク言葉」を言う時は、相手の気持ちや心の痛みを全く考えていないので、お友達とは仲良くなれません。逆に、例えば「ありがとう」、「ごめんね」や「すごいね」、「かわいいね」、または「大好きだよ」とか「楽しいね」、「よく頑張ったね」など、言われると気持ちが嬉しくなる「ふわふわ言葉」をかけると、言われた方は気持ちが楽になり、勇気もわき、笑顔になります。自分自身に「ふわふわ言葉」を言ってあげると、自分も、やる気が出ます。あいさつ・笑顔はもちろん、優しい言葉や励ましの言葉をかけることによって、お互いの気持ちが通じ合えます。

わる「**÷**」は、**わけあう**ことです。楽しいことを分け合えば、楽しさは何倍も大きくなります。苦しいことを分け合えば、苦しさは、どんどん減っていきます。分け合い、分かち合えば、相手の心が和み、必ず相手から笑顔が返ってきます。小さな気配りや心配りが人と人とをつなげてくれます。

人は、自分が傷つけられた（された）ことには敏感ですし、自分の思い通りに相手が動いてくれないと不満に感じたりしがちです。一方で、自分が傷つけている（している）ことには、気付かないことが多いものですし、相手の立場や状況に考えが及ばないことで、すれ違うこともあります。



困っていたり、悩んでいたたり、相手の心の中は見えにくいものです。

でも、一人一人の小さなやさしさ、心遣いによる「人を笑顔にする算数、思いやり算」が、「みんなの笑顔」という大きな答えにつながるものです。

4年生で習う“計算のきまり”では、たし算よりかけ算を先にやることになっていますが、思いやり算に順序はありません。どれからやっても正解です。

みんなが互いに声を掛け合い、助け合う心をもって仲間を大切にしていけば、さびしい思いをする人がいなくなり、一人一人が活躍して304人の力が集まれば、もっとよりより竜王南小学校になっていきます。竜王南小学校全員で、お互いに助け合い、明るく思いやりあふれる学校にしていきましょう。



思いやりや心配りを具体的にわかりやすく伝えていて、覚えやすいフレーズです。これは、10年と少し前にテレビCMでも使われていましたので、覚えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

困っている友達がいたら助け合い、損な場面も笑顔で引き受ける。いつも声をかけ合い、喜びも悲しみも分かち合う。そんな、思いやり算の得意な「みなみっ子」をたくさん育てていきたいと思います。